

SOSネット、捜索態勢案 各種団体検討委



HIYOSHIDAI
平成29年9月1日

発行

日吉台学区自治連合会
日吉台学区まちづくり協議会

発行責任者
林 堅太郎

編集責任者
村澤 真保呂

題字は
4-11-2
梶谷清苑さん

学区自治連会長らセンターで指揮

認知症行方不明者捜索で

日吉台学区自治連合会の特別委員会、各種団体連絡協議会検討委員会（森本祐司会長）は7月26日開いた委員会で、学区の認知症行方不明者を捜索するSOSネットワークについて、行方不明者が3段階に分けた捜索態勢を決めておき、学区自治連会長などの指揮者が出動規模を判断、捜索活動に入ることを決めた。

同委員会は27年度から2年がかりで認知症行方不明者が出た場合の連絡網「学区SOSネットワーク」を構築した。このネットワークは、捜して欲しい

い家人が、最寄りの団体、各自治会に捜索依頼をする。学区自治連会長は情報内容を集約したうえ、携帯メールを通じ、各種団体、各丁自治会長に捜

索依頼を伝達、捜索開始となる。

同委は、今年度SOSネットワーク連絡網が構築できたのを受け、情報を受けた各種団体、各丁自治会、学区自治連合会が捜索出動発動にあたり、どのような態勢を組

み捜索に入るかを協議、大枠を決定した。捜索を依頼した家人の間で、余り大勢の人を巻き込みたくない、大騒ぎして欲しくないという希望もあり、

学区自治連会長連絡先

携帯 090-3035-7212

各団体でそれぞれのケースで捜索にあたる人員数をあらかじめ決めておくことにした。捜索態勢は出動人員によつて3段階を検討。第1出動態勢は各団体で3人程度、第2出動態勢は10人程度、第3出動態勢となると各団体の総力で捜索にあたることに

した。また、同委員会では、捜索出動にあたり学区自治連、各関係団体の役割の役割も協議。発動後は、学区自治連合会長、自主防犯会長、自主防犯会長、日吉台支所長は直ちに日吉台支所に集合、捜索指揮、情報伝達にあたる。また、行方不明者が出た家人が住む当該自治会長は、家人宅に出向き、支所に常駐の自治連合会長らとの連絡調整にあたることになる。

日吉台学区は28年度と29年度で防犯カメラを整備、学区内で6基の防犯カメラが設置されており、SOS発動では、防犯カメラも捜索に活用する。

現在の学区自治連防犯カメラ運用規則では、学区自治連会長、自主防犯会長の2人しか映像閲覧はできないが、運用規則を一部改正してSOSネットワーク捜索実施に限り、自主防犯推進会員を指定

した。また、同委員会では、捜索出動にあたり学区自治連、各関係団体の役割の役割も協議。発動後は、学区自治連合会長、自主防犯会長、自主防犯会長、日吉台支所長は直ちに日吉台支所に集合、捜索指揮、情報伝達にあたる。また、行方不明者が出た家人が住む当該自治会長は、家人宅に出向き、支所に常駐の自治連合会長らとの連絡調整にあたることになる。

秋に恒例防災訓練

訓練内容は後日協議

防災会議

日吉台学区自主防災会（高村克彦会長）の学区防災会議が8月10日、市民センターで開かれ、日吉台小高学年児童を対象に防災授業を行うことを決めたほか、毎年秋に行う学区防災訓練についても協議した。学区防災会議には、自主防災推進員を指定

して閲覧できるようにする。各団体の捜索態勢づくりは、各種団体で人選を進めたい。9月開催の学区自治連定例会に報告、防犯カメラの運用規則改正も含め定例会の同意を得て運用を始めることにしている。

第13回 日吉台福祉まつり
と き：9月10日(日)
と ころ：日吉台市民センター

高齢者の方々の長寿を祝う式典【敬老のつどい】とともに 住民の皆様が楽しめる、ふれあいサロン・お楽しみ広場・模擬店等を開催します。皆様のご来場をお待ちしております。

☆「敬老のつどい」(式典11:30・贈答会11:30)
☆「ふれあいサロン」12:50～14:30

- ・歌 日吉台幼稚園児の皆さん
- ・「ボーボーハウ」&「ボーボーレファ」

☆お楽しみ広場 11:00～14:00

- ・ゲームコーナー・駄菓子屋さん
- ・抽選会 (11:30～12:00)
- ・模擬店 焼きそば・カレー・焼きおにぎり・唐揚げ 他
- ・福祉バザー 13:00～

収益金は【子ども支援事業に活用】
主催：日吉台学区 社会福祉協議会
共催：日吉台学区 自治連合会

ゼロ歳児からの保育を

認定こども園で、語る会要望書

認定こども園設置問題で、学区自治連の特別委員会、日吉台の教育を語る会（中野義勝委員長）は8月1日、日吉台学区に設置する認定こども園設置事業者を募集する市の設置運営事業者募集要領に「ゼロ歳児から保育可能な幼児連携型認定こ

ども園の設置を求める」の地元要望書を市福祉こども部幼児政策課を通じて直美・大津市長に提出した。日吉台学区に設置する認定こども園について、市は今年9月か10月ごろ、設置事業法人を公募の予定。日吉台学区では、地

元と寄り添うこども園設置を要望、市も公募要領に地元要望を盛り込むことを約束している。語る会の協議では、地元意見としてさまざまな要望が、具体的な要望は事業者応募のヒアリング時に出すことにした。

報告連絡事項では平成29年度大津市が行う防災士養成事業の学区自主防災組織の防災士受講者に3丁目西、岸本善春氏の推薦を報告。県大津土木事務所の土砂災害防止法に基づき7月3日に行われた現地調査では、学区内で、大きな土砂災害発生の指摘はなかったが、道路側溝に土砂や落ち葉が堆積、大雨のさい排水溝に雨水があふれる恐れ

主防災会員ほか、各丁防災代表17人が出席。高村会長が、8月6日の台風5号襲来で市内に暴風雨警報が発令されたことについて、野々口義信学区自治連会長、高村自主防災会長が市民センターに待機、情報収集と警戒にあたったことを報告。各丁防災代表に防災トランシーバーの電源を8日朝まで入れ、パソコンやテレビの情報で状況把握に努めるよう指示したことを明らかにした。

があり、各丁、各街区での清掃を呼びかけた。2丁目北の高橋川上流部右岸の地すべり危険箇所について、県、市の現地調査が7月20日にあり、地元から早急な地すべり改善策を要望した。

学区の防災訓練は、いつも同じ訓練内容でマンネリ化が指摘され、今回の防災会議でもさまざまな意見が出された。会議では例年通り日吉台小学校で実施することにしたが訓練内容については役員会で決めることとした。日吉台小で行う防災授業では、5年生を対象に9月後半から10月中旬にかけて実施、内容は防災クイズや東南海地震発生メカニズム、日吉台の地勢などを検討している。

お知らせ

▽連載漫画「ひよちゃん」は、休載しました。

▽この新聞に記事掲載希望の方は、編集部までご連絡ください。

日吉台新聞編集部

強まるきずな、学区夏まつり

子らの歓声響く校庭

初登場の出し物が人気

平成29年度第19回日吉台夏まつり（日吉台学区自治連合会などの実行委主催）が7月29日、日吉台小グラウンドで開催、夕涼みがてらの家族連れや子供たちが大勢来場、夏休みのひとときを楽しんだ。



今回の夏祭りで、初登場、人気を集めた「堀場製作所」のジャズバンド



にぎわう出店会場とステージ

夏まつりを盛り上げる出店は12団体。縁日でおなじみのたこ焼き、焼きそば、イカ焼き、焼き鳥、かき氷、アルコール類、清涼飲料水ほかアクセサリー類など趣向こらしたお店が軒を連ねたほか、今年初めてヨガグループがグラウンドの一角にお化け屋敷を設置、子どもたちの人気を集めていた。今年の夏まつりは、朝から曇り空が広がり、差しやかな西日もなく快適な祭り日和。町内を練ったお神輿が、会場内に到着してスタート。テント内に明かりが入れられまつりもクライマックス。会場中央のステージでは、日吉台幼稚園児によ

る親子でリズム、日吉台小児童の「Let's Go. 一輪車」、日吉中学校ブラスバンド、チアダンス、盆踊り、オバサンバ・オネサンバ&オチビサンバチームによるサンバ演舞など楽しい催しが繰り広げられ、まつりを盛り上げた。今年のステージでは、堀場製作所の社員らでつくるジャズバンドグループ「Horiba Group Jazz Orchestra」(下野善弘代表)が初出演、懐かしのジャズスタンダードナンバーの数々を演奏、「時間が少なくもう少しじっくり聴きたかった」と参加住民から称賛の声があがっていた。

学区のユニーク活動5件

市の自治会活動好事例報告

大津市自治協働課が、市内自治会に呼び掛けていた自治会活動好事例に関する調査で、日吉台学区自治連合会は、学区で行う活動のうち、認知症高齢者方不明者を探す「日吉台SOSネットワーク」、日吉台幼稚園児や日吉台小児童を地域で守り育てる「ママ預かり地域預かり」「アソビバ マナ☆ビバ」「日吉台新聞発行事業」学区民会議と夢・未来事業推進

委が日吉台小で行なう新春恒例の「もちつき大会・どんど焼きまつり」の5事業を報告した。大津市は、人口減少や少子高齢化、単身世帯の増加、ライフスタイルの多様化に伴い、自治会を取り巻く環境が大きく変化。そのうえ地域コミュニティの希薄化、自治会加入率の低下に加え、高齢化、役員の担い手不足などで自治会活動は大きな岐路にたっている。

このようななか、市内700余の自治会で「自治会加入率の向上事業」「自治会活動活性化事業」などユニーク活動を通じ、自治会が抱えるさまざまな課題を乗り越えている自治会もあり、他の自治会にも参考となるような模範的な自治会活動の報告を学区自治連を通じて広く求めている。

日吉台学区自治連合会では、学区内の各種団体、各町自治会、まちづくり協議会などを通じて報告を求め、締め切りの8月中旬までに求めに応じた5件の活動を市に上申した。この活動報告は、市のホームページや11月に行われる市自治連合会表彰式典などで紹介されることになっている。

標柱の修理、点検

銘板、落下や浮き相次ぐ

市のふるさと創生事業で日吉台学区が高橋川沿いや主要道路沿いに設置した標柱。長年の風雪で昨年からの今年にかけて標柱の銘板が落下したりする被害が出ている。銘板の落下は昨年2件、今年になって3丁目東地区の高橋川沿いや1丁目南地区の古墳通り沿いの標柱のステンレス製銘板がはがれ落下しているのが相次いで見つかった。このため、学区自治連では3丁目西在住の元同丁自治会長の岸本善春さんに、学区内すべての標柱の点検と修理を依頼した。点検した19基の標柱のうち日吉台幼稚園や市

民センター、高橋川沿いなどで石柱の土台部分にはめ込んで接着してあるステンレス製銘板の接着材がはがれたり、雨水がしみ込んで浮いていたりしたもの、14件も見つかった。岸本さんは、同じ丁の常盤孝夫前自治会長とともに外れた銘板に接着剤を塗りつけ修理し、写真9月いっぱいかかってすべての修理を完了することにしている。

